

令和4年度 事業報告

令和4年度の発酵乳・乳酸菌飲料市場は、発酵乳ではやや停滞傾向となったものの、乳酸菌飲料ではその市場が成長した。一方、消費者の食品安全、食品表示への関心はさらに高まった。食品安全関係では、改正食品衛生法で導入された器具・容器包装のポジティブリスト制度や営業規制の見直しが進められ、また食品表示については、令和4年4月、新しい加工食品の原料原産地表示制度が適用されるなど業界を取り巻く環境は大きく変化した。

これらの状況の下、本協会は、①食品安全の推進、②経営及び流通の合理化、③乳酸菌情報の積極的な発信を重点課題として事業を実施した。

1. 衛生及び品質の向上に関する事業

(1) 行政情報の収集・提供及び業界意見の提出等

- ア. 発酵乳・乳酸菌飲料の衛生・品質及び表示に関する行政情報を収集、または行政からの依頼を受け、会員に提供した。
(電子媒体91件、郵送1件)
- イ. パブリックコメント募集案件に関する会員への情報提供は3件であった。
- ウ. 発酵乳・乳酸菌飲料で使用される容器包装の規制緩和を求める厚生労働大臣宛要望書を、(一社)日本乳業協会及び(一社)日本乳容器・機器協会との連名で提出した。また、国立医薬品食品衛生研究所が主催する容器包装の規格改正ワーキンググループに参画し、情報収集と意見提出を行った。
- エ. 食品添加物の表示に関する規制強化の動きなど、特に会員の関心が高いと考えられる事項について、幅広く情報収集し、会員への情報提供に努めた。
- オ. 食品ロスの削減要請等の社会情勢の変化に対応するため、発酵乳・乳酸菌飲料の賞味期限設定における安全係数を変更し、会員に周知した。

(2) 食品表示セミナーの開催

新たに適用される食品表示基準への理解を深め、表示の適正化を図ることを目的とした消費者庁担当官による行政セミナーをウェブセミナー形式で実施した。

ア. 開催日、参加者数

令和4年8月4日、210名（非会員15名含む）

イ. 演題

- － 食品添加物の不使用表示に関するガイドラインについて
講師：食品表示企画課 平木 孝佳 食品衛生係長
- － 最近の食品表示制度をめぐる情勢について
講師：表示対策課 ヘルスケア表示指導室 田中 誠 室長

(3) 「食品衛生管理に関するeラーニングシステム」の構築

「HACCP衛生管理の手引書（発酵乳・乳酸菌飲料）」の解説や食品衛生管理について令和3年度に制作した複数の研修コンテンツの内容を見直して整理し、製造機器・装置の保守管理に関する新たなコンテンツを収載したeラーニングシステムを構築した。

本システムを用いて、食品衛生管理に関する事項を体系的に学習することを目的としたeラーニング講習を実施した。

ア. 実施日、受講者数

令和5年1月23日～3月31日（3月31日以降も継続配信）、
444名（非会員4名含む）

イ. 収載コンテンツ

- － HACCPによる衛生管理
- － HACCP 7原則 PART①
- － HACCP 7原則 PART②
- － HACCP手引書の具体的な解説と運用
- － 食品工場における衛生管理
- － 食品工場における洗浄と殺菌・消毒
- － 製造機器・装置のメンテナンスと管理
- － 製造機器・装置のメンテナンスと管理 ～充填機編～

(4) 生産技術・衛生講習会の実施

(一社)日本乳容器・機器協会の協力を得て、製造現場における製造機器・装置のメンテナンスや管理、校正等のポイントを解説する2つの研修コンテンツを制作し、eラーニングシステムに収載した。

(5) 微生物検査研修会の開催

品質管理・検査担当者を対象として、発酵乳・乳酸菌飲料関連の微生物に関する知識の強化及び検査技術の向上を目的とした2日間の研修会を開催した。

ア. プログラム

ー 講義

発酵乳・乳酸菌飲料における微生物学の基礎と検査方法

ー 実習

(ア) 大腸菌群・乳酸菌数・ビフィズス菌 培養・プレート観察

(イ) 一般細菌数 プレート観察・カウント・計算

イ. 開催場所：(公財)日本乳業技術協会 (東京会場)

(一財)日本食品検査関西事業所 (神戸会場)

ウ. 開催日：令和4年10月19～20日 (東京会場)

令和4年11月10～11日 (神戸会場)

エ. 参加者数：東京会場10名、神戸会場10名 計20名

2. 製造技術・製造施設の改善及び経営・流通の合理化に関する事業

会員企業、賛助会員である食品機械・素材メーカー及び流通大手企業を訪問し、取材記事を「乳酸菌ニュース」に掲載した。

(1) 会員企業における経営理念、事業展開、今後の戦略等

協力企業：(株)湯田牛乳公社、淡路島牛乳(株)

(2) 当協会賛助会員である食品機械・素材メーカーにおける最新の食品製造技術等

協力企業：東罐興業(株)

(3) 流通大手における発酵乳・乳酸菌飲料の売れ筋、今後の販売戦略等

協力企業：(株)ダイエー

3. 知識の普及・消費の増進に関する事業

発酵乳・乳酸菌飲料の保健機能、安全性等に関する情報を機関誌「乳酸菌ニュース」、「はつらつファミリー」及び協会ホームページを活用して発信した。また、発酵乳・乳酸菌飲料の特長や乳酸菌・ビフィズス菌の健康増進効果に関する正確な情報をよりダイレクトに消費者に伝えるため、末端消費者向けの広報ツールを制作した。

(1) 「乳酸菌ニュース」

ア. 主な内容

(ア) 学術情報

- － 「腸内細菌叢と健康、プロバイオティクス」
(野本 康二 東京農業大学 生命科学部 分子微生物学科
客員教授)

(イ) 行政情報

- － 「東京栄養サミット 2021 と今後の栄養政策の展開」
(厚生労働省)
- － 「最近の牛乳乳製品をめぐる情勢について
～輸出と牛乳でスマイルプロジェクト～」 (農林水産省)
- － 「食品添加物の不使用表示に関するガイドラインについて」
(消費者庁)
- － 「年頭挨拶」 (関係省庁課長)

(ウ) 健康情報

- － 「妊娠前からはじめる食生活の改善」
(瀧本 秀美 (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・
栄養研究所 栄養疫学・食育研究部 部長)
- － 「朝の食物繊維摂取と腸内細菌叢のバランス」
(柴田 重信 早稲田大学 先進理工学研究科 電気・情報生命
専攻 薬理学研究室 教授)
- － 「飲み物の容器の色が味に及ぼす影響」
(一川 誠 千葉大学大学院 人文科学研究院 心理学研究室
教授)
- － 「動脈硬化予防に役立つ“ザ・ジャパン・ダイエット”」
(丸山 千寿子 日本女子大学 名誉教授)

(エ) 統計情報

発酵乳・乳酸菌飲料の生産量（農林水産省調査等）及び
都市別1世帯当たりの支出金額（総務省家計調査）

(オ) その他関連書籍、新聞雑誌での掲載記事等

イ. 発刊頻度/部数：年4回/各1,200部

ウ. 配布先：会員、関係行政機関、消費者団体、栄養士会、消費生活センター、都道府県図書館等

(2) 「はつらつファミリー」

一般消費者向けの健康情報の発信を目的とした冊子

ア. 主な内容

- － 「生活習慣病の予防」に関すること
- － 「腸内細菌叢と健康」に関すること
- － 「児童及び高齢者の生活改善」に関すること
- － 「乳酸菌の基礎知識」に関すること

イ. 発刊頻度/部数：年3回/各10,000部

ウ. 配布先：会員、関係行政機関、消費者団体、栄養士会、消費生活センター、食生活改善推進員団体連絡協議会等

(3) 消費者向け広報リーフレット「ヨーグルト・乳酸菌飲料 おいしく健康」

発酵乳・乳酸菌飲料の特長や乳酸菌・ビフィズス菌が健康にはたす役割等に関する正確な情報を消費者に伝え、発酵乳・乳酸菌飲料の一層の普及を目的とした一般消費者向けのリーフレット

ア. リーフレットの内容

- － レッスン1 「知っていますか？ ヨーグルト、乳酸菌飲料のこと」
- － レッスン2 「ヨーグルト、乳酸菌飲料の栄養とは？」
- － レッスン3 「ヨーグルトや乳酸菌飲料 タイプや種類、どう選ぶ？」

イ. 発刊部数：30,000部

ウ. 配布先：会員、消費者団体、栄養士会、消費生活センター、食生活改善推進員団体連絡協議会等

(4) 「協会ホームページ」

ア. 利便性の向上

- － ホームページ内のコンテンツ検索機能を令和4年2月に追加し、ユーザーの利便性向上を図った。

イ. 主なコンテンツ（見出し）

- － 発酵乳・乳酸菌飲料について
- － 乳酸菌について
- － 食生活と健康情報
- － 協会・協議会について
- － 会員向けサイト

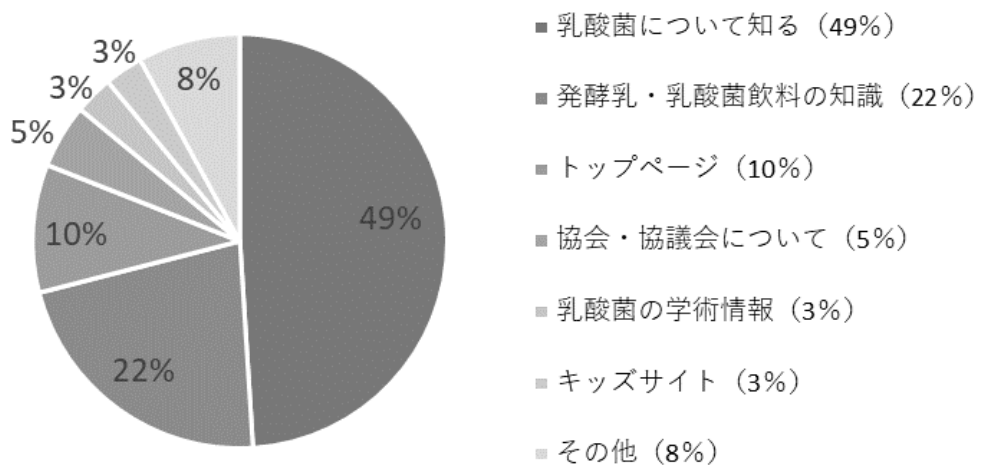
ウ. 更新頻度：年5回

エ. ホームページ利用状況

アクセス数：139,495件

※ 昨年比121%（昨年度 115,596件）

令和4年度ホームページアクセス数（割合）



4. 情報・資料の収集及び提供に関する事業

(1) 国際食品規格計画（コーデックス）に関する情報

政府主催の連絡会議、日本国際酪農連盟の委員会等に出席し関係情報を収集した。

「食品、サプリメント等を使用されるプロバイオティクスについての定義、安全性、有効性等を規定するガイドライン」について、令和5年3月に開催されたコーデックス栄養・特殊用途食品部会で新規活動項目として採択するかどうか討議された結果、作業部会で継続検討を行い、次回の同部会で改めて討議されることとなった。

5. その他本会の目的達成に必要な事業

(1) 60周年記念表彰の実施

令和4年度社員総会に合わせて「協会創立60周年記念表彰式」を開催し、当業界の発展に貢献された会員や従事者、協会事業に尽力された役員に対する表彰を実施した。

また、協会創立60周年記念表彰パンフレットを作成し、会員や受章者に送付した。

ア. 開催日、参加者数

令和4年6月3日、60名（来賓4名含む）

イ. 表彰内容と受章者数

- － 厚生労働省 医薬・生活衛生局長 感謝状：1名
- － 協会会員への会長感謝状：正会員6社、賛助会員8社・団体
- － 会員企業の優良従事者への永年勤続表彰：53名

(2) 相談事業

発酵乳・乳酸菌飲料の特性・品質に関するマスコミ、会員等からの問い合わせに対応した。

問い合わせの件数：合計56件

※ 内訳：マスコミ5件、会員15件、消費者8件、その他28件

昨年比 72%（昨年度の合計78件）

(3) 環境問題への対応

- ア. 環境問題に関する会員同士の情報交換の場とするため、「環境問題に関する勉強会」を開催し、専門家・厚生労働省担当官からのプラスチック資源循環や再生プラスチックに関する情報提供、勉強会メンバー間での情報交換等を行った。
- イ. 紙製容器包装リサイクル推進協議会、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会等の3R関係団体と連携を強化するとともに関連情報の収集等を行った。

(4) 訪問販売の規制への対応

訪問販売に対する消費者の要請に適切に対応するため、経済産業省及び関係団体と連携を強化するとともに関連情報の収集等を行った。

(5) 新会員の勧誘

非会員に対して、食品表示セミナーや食品衛生管理に関するeラーニング講習への参加を呼びかけるとともに協会への加入を勧めた。令和4年度においては、正会員として、木村ミルクプラント(株)、西武酪農乳業(株)が新たに加入し、やまぐち県酪乳業(株)が退会した。また、賛助会員として、アヲハタ(株)が退会した。これにより、令和4年度末会員数は、119社(正会員65社、賛助会員54社)となった。

	R 4. 3	R 5. 3	増 減
正 会 員	6 4 社	6 5 社	1 社増
賛助会員	5 5 社	5 4 社	1 社減
合 計	1 1 9 社	1 1 9 社	増減なし

以 上

(注) 事業報告に係わる附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。